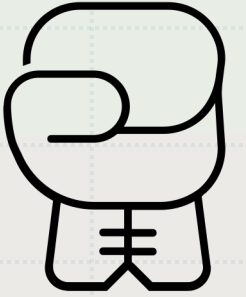


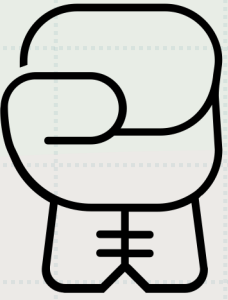
"Good" Good Guy より
"Good" Bad Guyの方が難しいのです。



その理由は、GGGは自分の動きだけを考えながら技のチャンスを狙うからです。

GBGは、自分の動きプラス、GGの動きを考え、相手を予測し、良い練習になるようチャンスを作り出す人だからです。

ストーリー①



コンバティブスクラス2回目の生徒Aと、
白帯ストライプ4本目の生徒Bがいます。

あなたはBGで、一緒にShrimp Escapeをす
るとします。



どんなことを考えて技をしますか？

ストーリー①の続き . . .

Aさんは軽く抑え込んで、Bさんは100%で
プレッシャーをかける？



もしくは技が簡単にできる程度に2人とも抑
え込む？

正解は . . .

どれも正解ではありません。

あれれ



コンバティブス数回目のAさんでも柔道経験者なら、強度をあげることができます。

ストライプ4本のBさんでも、仕事が多忙で練習参加が3ヶ月ぶりなら強度を下げて行うことができます。



クラスの中でチャレンジがなければ、
躍動感がなくなり、
ハードルが高すぎれば、挫折してしまいます



GBGは、そのバランスを
調整することができます



Good Bad Guyは、

Free Style Fight Simulation

(RDのクラスのファイトシュミレーション)

でさらにその特徴を発揮することができます。



GGの良い練習になるように、

バランスを取って、身体と言葉で体現、

誘導することができます。

“Good Bad Guy”になるベネフィット

- ・ 人の助けになる
- ・ 人への教えは、自分への教えに変わる
- ・ 柔術に必要な、予測する能力、



問題解決能力、適応能力が身に付きます。

おまけ

柔術立ち (Sand in Base)スタンディングベース

なぜ大事なのでしょう？



護身術の中で、
うまく立ち上がれるか、そうでないかで

逃げれるかどうか、
つまり命を守れるかどうかに関わってくるからです。



テストでも全て柔術立ちで立ち上がらないと
減点です。



安定した土台があることで
不利益はありません。



残りの人生は、全て柔術立ちで
立ち上がりましょう